

2012年7月13日

# 6次産業化を超えて — 内発的発展で地域創生—

法政大学学事顧問

清成忠男

# はじめに

- 新産業創出で地域創生
- 企業誘致・財政依存は限界
- 農村部では6次産業化による新産業が有望
- 基本的視点：自然・健康・食
- クラスター形成で新しい地域づくり
- 持続可能な発展で雇用創出

# 1 6次産業化の意義

- (1) 需要サイドから複数の産業を統合  
諸産業の地域内連関に着目
- (2) 機能の積み重ね  
ヴァリューチェーンの展開  
高付加価値化、食品産業 +  $\alpha$
- (3) 連関効果に配慮  
前方連関効果  
後方連関効果(投入物供給効果)  
サプライチェーンの整備

## 2 クラスタ形成へ

(1) 個別の6次産業化を束ねる

例えば、食品産業クラスター

結合連関効果を期待、例・観光との結合

(2) イノベーションが目的

異質人財の交流の場の形成

知的摩擦、共創

新しいビジネス・モデルの開発

(3) 産学官連携

地域をベースに諸力の結集

# 3 地域社会の再生

## (1) 新しい地域中核産業の形成

クラスターをコアに、地域を支える産業を

地域のグランドデザインが不可欠

自然、健康、食の連鎖で新しい地域文化の創造

## (2) 多様な独立中間層の形成

高齢社会、人口減少社会に対応

## (3) 地域ブランドの形成

高次のブランドのもとに諸産業の統合

新しい地域文化と産業の結合

## 4 地域連携が有効

### (1) 基礎自治体単位の連携

隣接地域間連携、遠隔地間連携  
多様な結びつきでシナジー効果を  
競争と協調

### (2) 広域圏へ

ネットワーキングで広域圏を形成  
独自の地方色を

### (3) 国境を超えたネットワーキングへ 経済のグローバル化に対応

# 5 人財と組織の重要性

## (1) 知的創造への挑戦

不確実性の克服

新しい事業機会を捉える

企業家活動が重要

## (2) 専門人財の必要性

多様な分野・レベルに専門家を

## (3) プラットフォーム組織の構築

マネジメント人財が重要

運営人財の育成

# 6 必要な政策

## (1) 産業政策と地域政策の統合

地域主導が重要

地方自治体を担い手とする地域産業政策

## (2) 政策目的

イノベーションの推進

知的インフラの整備、交流の場づくり

創業支援、企業家風土の形成へ

## (3) 産学官連携の推進

草の根の研究開発を



# 7 事例

(1) ヨーロッパに先進事例が多い

(2) ドイツの例

食品産業クラスター

地域総合産業クラスター

(3) ノルウェーの例

食品産業クラスター

(4) E U

オランダとドイツの協力

# むすび

- 農林・食品経済の強化が課題
- 伝統的政策思考からの脱皮が必要
- 規制改革も
- 新しい事業展開の余地は大
- 政策手法の開発が急務